

厚小だより

平成29年2月28日 発行

最後は親子の関係の問題……！？

校長 秦 直 人

先日、厚岸町の「小中高児童生徒指導連絡協議会」に参加をしてきました。この協議会は、厚岸町の児童生徒の実態をふまえ、生徒指導の充実・深化を図っていくことを目的に、町内の各学校の先生方や教育委員会、警察署などが連携して活動しています。思い起こせば、昨年10月、真龍中学校で情報端末機器に関わる講演会があり、厚岸警察署の生活安全課長さんが講演されていましたが、あのときの講演の主催がこの協議会でした。

昨今、携帯電話やインターネットをめぐって、子ども達の中に様々な問題が起こっていることは、新聞やニュースでよく見聞きします。これらの機器を使ってのいじめやトラブルは数年前までは中高生で目立った問題でしたが、最近ではスマホやPCを持っていないことでも、通信機能のあるゲーム機などでインターネットにつながることができるようになっていくことから、今では全国的に小学生にとっても大きな問題となっています。先日の協議会の中でも本町の児童・生徒が深夜までインターネットゲームをやり、寝不足になっている実態やトラブルに巻き込まれそうになったりしている実態が交流されていました。

数年前に参加した講演会でこの問題が取り上げられ、その時の講師は「学校、家庭、業者…いろいろ対策は必要だが、最後は親子の関係の問題だ」と強く訴え、次のように親の立場の方々には問いかけていたのがとても印象的でした。

- 子どもの一方的な要求で買い与えていないだろうか。
- 与える際、きちんとルールを決めているだろうか。
- 子どもの判断力の未熟さや好奇心旺盛な実態を踏まえているだろうか。
- ルールを破ったり、いけないことをしたときの確に叱ることができるだろうか。
- もしものとき、買い与えた親の責任として子どもをしっかりと守れるだろうか。

私自身、親としての子育ての時期はちょっと前の話ではありますが、我が子との関係が上記と照らし合わせ、どうだっただろうと振り返ったとき、けっこうあまいところのある決して褒められる親ではなかったような気がして、反省しながら聴いていました。

道具としての情報端末機器は使い方次第で便利なものにも危ないものにもなります。情報社会を生きる子ども達がこれらの機器を正しく、便利に使っていけるよう家庭とも連携し、判断力があり、きちんとした情報モラルを身につけた子ども達に育てていかなければと、強く思っています。

各家庭でもご一考を！

<3月の行事予定>

日	曜	おもな予定	
1	水	ALT	帰宅時刻は、 17時まで です。 日が長くなってきたことによる気の緩みが心配です。 春先に不審者が多いという実情もありますので、ご家庭で話題にいただき、外出時は、「どこに行くか」「何時頃もどるか」等を確認できるようにしてください。また、不審情報があった際は、ためらわずに警察に連絡して下さい。学校への連絡は、その次で大丈夫です。
2	木		
3	金	6年生を送る会	
4	土		
5	日		
6	月	ALT	
7	火	全校朝会	
8	水	ALT 卒業式全体練習	
9	木	図書館バス	
10	金		
11	土		
12	日		
13	月	ありがとう清掃（6年生～14日）	
14	火	全校朝会 卒業式全体練習	
15	水		
16	木	卒業式総練習	
17	金		
18	土		
19	日		
20	月	祝日 春分の日	
21	火	第128回卒業証書授与式	
22	水		
23	木	図書館バス 学期末清掃	
24	金	修了式 離任式	
25	土	学年末休業 PTA 送別会	今年度も文化厚生部の主管でPTA 送別会を以下の日時で実施します。 3月25日（土）18:30～ 崑州 参加申し込み・参加費等については、近日中にご案内いたします。
26	日		
27	月		
28	火		
29	水		
30	木		
31	金		

<卒業式に向けて>

6年生単独の取り組みは既に2月初旬から始まっていますが、全体での練習が本格的になります。例年、学年毎に割り当てられた「言葉」の他に、式の中で歌う曲、礼法等、一同に揃えて行う部分を限られた時間の中で練習しています。全体練習は、総練習を含めて3回だけですので大方は各学級での練習にかかっています。これまでに1万5千人以上の卒業生を送り出してきた厚小は、3月21日に128回目の卒業式を迎えます。6年生19名の晴れの旅立ちを素敵な区切りの瞬間と出来る様、在校生と教職員が丸となって準備を進めていきます。

< 2月の写真館 >

3学期スタート 寒さに負けるな！



29年度児童会役員所信表明
 会長=6年生1名、副会長=5・6年生から各1名、書記=4・5・6年から各1名の合計6名が、事前に各学級で行われた事前討議を経て1年生を除く児童の前で「どんな活動をしたいか」を表明しました。

1年生 道徳の授業研究会
 動物たちのストーリーを通して「自分だったらどう行動するか」「どんな声かけをするか」を一人一人がしっかり考え、お互いに認め合うことができました。



冬季間の地震・津波避難訓練
 いつ起きるかわからない災害。2月の真冬日に予告無しで実施しました。指定避難所への道は凍っていて滑りましたが「あわてず」「急いで」避難しました。

PTA かるた大会
 今年度は 88 名の参加者でにぎわいました。学年総当たり戦で熱いバトルが繰り広げられました。成績は、6年生チームが「全勝優勝」という貫禄を見せつけました。
 +



学習指導と生徒指導（厚小に必要だった2つの取り組み）

今年の新1年生一日入学の際の保護者説明会において町教育委員会の担当者から

「今の厚小は、本当によく伸びています。学力も、体力もです。」

このように言われることは、素直にうれしいことですが、数年前の状況から現在に至るまでには相当な取り組みをしてきた経緯があります。

① **勉強がわからない・おもしろくない → 勉強がわかる！・おもしろい！を経験させる**
 当たり前のことですが、子どもたちは、登校してきていました。（厚岸の親は基本的に、子どもたちを簡単には休ませません）学校で過ごす時間は、毎日確保されていたので「わかる・おもしろい勉強」ができれば学校での生活は充実したものになるはずでした。

この紙面で何度も取り上げてきた『通級』や『少人数』等の指導方法の工夫が始まったのは、4年前のことです。この4年間の取り組みに関して経年変化を振り返ると

算数に関する学力状況が少しずつ向上してきている

ことがわかります。

今年の例：5年生の算数『分数の大きさ」とたし算、ひき算』では全9時間の授業を以下の6コースで学ぶ環境を整えてきました。

- こっこつ
- じっくり
- すいすい
- 通級①
- 通級②
- 特別支援

この環境を実現させるためには、担任・通級担・少人数担・特別支援担に加えて、教務主任・生徒指導担・教頭が入りました。全ての学年で毎時間実施できる環境ではないのですが、必要に応じて他の学年でも導入してきました。

児童の実情に合わせてコース設定を細分化したことにより細かな学習指導と見取りが可能となりました。

② **みんなで過ごすことが楽しく思える → 友達との信頼関係・良好な人間関係の構築**
 同時多発的にケンカやトラブルが起きていた数年前までの厚小。次々と起きる問題への対応で教師も保護者も多くのエネルギーを費やし疲れていたと聞いています。

全校朝会でまっすぐに並んだはずの列は曲がっていたり、ジャンパーを着たままで参加していたりと全体的な規律が感じられない状況になっていた様です。

先述の学習指導と同時期に『児童支援』を専門に行う教師が厚小に配置されました。いわゆる生徒指導に関する様々な内容に関与する立場で、担任と連携しながら問題解決にあたってきました。

状況を把握した上で導入2年目からは

問題が起きてから対処するよりも、問題が起きない様に予防的方策を徹底する

ことを進めてきました。この取り組みは「地道に継続していく」ものが多く、今でも続いている取り組みがあります。『朝のあいさつ運動』です。毎朝、児童会メンバーと5・6年生が校門前に立って、登校してくる下級生たちとハイタッチをしている姿を見ることができます。

一日の始まりに「これからみんなで学習をするぞ」というスイッチを入れています。

（この1年間、厚小の特筆される姿を伝えさせていただきました。教頭：山田敏一）